

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度	令和元年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	相模原市立市民健康文化センター
指定管理者名	市民健康文化センター運営共同企業体(公益財団法人相模原市まち・みどり公社、株式会社明治スポーツプラザ)
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立市民健康文化センター条例
施設の設置目的	市民の健康保持及び増進並びに文化及び福祉の向上に寄与するため(相模原市立市民健康文化センター条例第2条)
施設概要	・所在地 南区麻溝台1872-1・敷地面積 7,987.76㎡・建物面積 4,080.63㎡・延床面積 6191.22㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨(地下1階 地上2階) 1階 プール、浴室、多目的広場、多目的会議室1、カフェ 2階 多目的会議室2、茶室、講習室1・2・3、工作室(陶芸窯)、展示コーナー
施設所管課	市民局 市民協働推進課

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	324,672	333,085	292,998				
利用料金合計(円)	50,027,328	52,344,856	47,164,171				

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
A	プール利用者数については、昨年度よりも減少しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休所、入退場管理システムの入れ替えに伴う休所等の施設の責めによらない休所が大きな要因であり、1日あたりの利用者数で比較すると、昨年度から若干増加している状況である。 自主事業参加人数についても、前述の要因により、当初予定していた事業を実施できなかったにも関わらず、成果指標を達成できているため、A評価とする。

指標 1	
指標名(単位)	プールの利用者数(人)
指標式と指標の説明	市民健康文化センターでプールは中心的な施設であり、施設の設置目的である、市民の健康の保持及び増進を達成させるため、成果指標とする。

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(単位)	115,000	117,000	131,000	132,000	133,000	134,000	135,000
実績値(単位)	129,926	137,955	125,792				
達成度(%)	113.0%	117.9%	96.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標 2	
指標名(単位)	自主事業の参加人数(人)
指標式と指標の説明	市民健康文化センター全体の諸施設を活用し、設置目的を達成させるため、自主事業参加人数を成果指標とする。

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（単位）	16,800	17,000	26,500	26,500	26,500	26,500	26,500
実績値（単位）	25,989	29,662	28,252				
達成度（％）	154.7%	174.5%	106.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	新規で超高齢化社会を見据えた事業を展開し、一定の参加者数を確保している。指定管理者の実施している事業の中でも水泳教室の人气が高く、「LINE@」やチラシの配り方の工夫等、効果的に周知を図ることで、多くの事業が参加予定人数を超えることができた。引き続き、利用者ニーズを把握し、人気のある事業を実施することで施設の魅力づくりに努めていただきたい。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
健康増進のための空間づくりの事業	4月～3月	プール教室や体操教室等の健康増進等に関する事業（全24事業）	
文化の醸成・創造活動へのサポートの事業	4月～3月	寄席や美容教室等の文化の醸成等に関する事業（全13事業）	
地域の魅力・ふれあいづくりへの貢献の事業	4月～3月	着意水泳指導や税の展示の相談会等の地域の魅力づくりに関する事業（全18事業）	

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	昨年度と比較して、総合的な満足度（「満足」と「やや満足」の合計）が0.8ポイント減少しているが、目標値である90%を達成することができた。満足の割合は10.2ポイント増加しているため、市民のニーズに沿って事業を実施できた。利用の実態に則した利用者満足度調査の実施に努めて欲しい。

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施（600件）
目標値の基準	利用者満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（％）	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値（％）	83.2	91.6	90.8				
達成度（％）	92.4%	101.8%	100.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
ご意見箱の設置	通年	通常の満足度調査とは別に、通年で3か所にご意見箱を設置。 全施設のなご意見(総合カウンターに設置) 授乳室へのご意見 幼児コーナーへのご意見
健文ロードショーでのアンケート	事業実施ごと	健文ロードショーの上映作品の選定や今後の運営の参考とするため、アンケートを実施。 次年度以降の作品選定の参考としている。

6 施設の経営状況

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
B	本体事業収支及び全体収支がマイナスであるが、指定管理者の団体本体の経営状況としては、特段の問題はなく安定している。

施設の収支概要		直近3年間について記載 (千円)		
項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度
収入 (a)		213,675	216,532	207,279
指定管理料		161,157	161,157	156,278
利用料金収入		50,027	52,344	47,164
その他の収入		2,491	3,031	3,837
支出 (b)		216,500	214,263	222,525
人件費		96,101	98,123	101,032
本社管理経費		8,811	8,638	8,850
その他の支出		111,588	107,502	112,643
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)		-2,825	2,269	-15,246
自主事業収入 (d)		18,035	20,264	19,585
自主事業支出 (e)		3,353	3,410	5,300
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)		14,682	16,854	14,285
全体収支 【(c)+(f)】		11,857	19,123	-961
備考				

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和2年9月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 指定管理者の自己評価

成果指標である「プールの利用者数」と「自主事業の参加人数」については、3月2日から新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い施設閉鎖となった影響があり、「プール利用者数」では、目標値に5,208人届かず未達成となりました。

しかし、昨年度の3月の実績値と同様の利用があったと仮定すると、利用者数は135,467人となり、大幅に達成する水準で推移していたと思われます。「自主事業の参加人数」は、このコロナ禍においても、28,252人という結果で、目標値の26,500人を達成しており、多くのお客様にご利用いただきました。

また、満足度調査の結果では、目標値の90%を超えており、多くのお客さまにご支持をいただいたことに加え、広報活動においては、利用者の増加に向けて、新たな広報媒体として、「LINE@」による施設等のPRを実施し、現在、1,000人を超えるお客様が登録している状況です。

9 所管課意見

・新型コロナウイルス感染症拡大防止等に伴い、当初の予定より休所日数が増加し、自主事業が中止したにも関わらず、目標値に近い利用者数を確保したこと、自主事業参加者数の目標値を達成できたことは大きく評価できる。

・施設の情報発信については、「LINE@」等を活用するなどの工夫が見られ、引き続き施設の魅力の発信に努めて欲しい。

・一部の施設・設備に経年劣化が見られるため、日常の業務における巡視点検を行い、適切な維持管理に努めて欲しい。

・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新しい生活様式を踏まえた上で、自主事業を含め、施設の新たな活用方法や展開を期待したい。

10 選考委員会意見

・LINE@などのソーシャルメディアによる情報発信を行うことで、一定の成果を上げていることは評価できる。新規顧客の獲得及び既存顧客の満足度向上に資する情報発信を含め、今後も市民のニーズに沿った事業を展開して欲しい。また様々な発信ツールを準備しても、情報が埋もれてしまうこともあるため、効果的なプロモーションに努めて欲しい。

・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の閉鎖を行ったが、1日あたりの利用者が増えていることは評価できる。満足度調査について利用歴や利用した施設等に対応するクロス集計の調査を拡大することについても検討して欲しい。

・文化の機能も持つ本施設ならではの取組として不要になった本を市民から提供してもらうなど市民の参画による運営について検討して欲しい。

・スポーツに限らず動画配信を使った施設のプロモーション等、コロナ禍における新しい施設のあり方を検討して欲しい。

・東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、気軽に市民が参加できる環境を用意し、機運の醸成に努めて欲しい。

